

時雨夕風
有明吹雪
官房第一三六号

0134

(丙様式)

彖燈 時雨夕風
有明吹雪

検査報告

横須賀海軍工廠長

大正五年二月

未日調

(船体一部)

見所	現 状 摘 要				
	補機	罐	機械	艦装及品	船殼
各艦共ステムヨリ機室ニ至ル 板全体ニ亘リ腐朽甚敷ニ生 上甲板ハ古錆膠着ヨリ僅ニ ステンレス短艇知上等固着ニ 通リ又修理不能ト認ム				右 全	全 般 ニ 亘 リ 衰 朽

0135

- 一、現狀摘要欄ニハ一般及諸要部ノ現狀ヲ記載シ必要ト認ムルトキハ續通試験ノ成績ヲ添付スヘシ
- 二、所見欄ニハ本船艇ノ處分ニ關スル所見ヲ記載シ尙參考トシテ左ノ事項ヲ附記スヘシ
 - (1) 尙使用セントセル之ニ要スル修理費及修理後ノ使用見込年月
 - (2) 他種ノ雜役船トシテ利用方途ノ有無若シ有リトセハ之カ改造ニ要スル工事方案及費算

0136

機
関
部

海
軍

現	現	現	現	現	現	現	現			
機	機	機	機	機	機	機	機			
械	械	械	械	械	械	械	械			
用	用	用	用	用	用	用	用			
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ			
得	得	得	得	得	得	得	得			
ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル			
見	見	見	見	見	見	見	見			
込	込	込	込	込	込	込	込			
除籍艇逐艇時雨現状検査表（一ノ一ノ一ニ〇調）	滑動部全般ニ亙リ摩耗シ森ニ軸系中心ニ變荷ヲ來シ運	轉中震動並ニ騒音甚タシキモ時々小修理ヲ施セハ尚使	用シ得ル見込	並力軸承及要出軸承裏金ノ鐵部腐蝕甚タシ	全般ニ亙リ摩耗甚タシキモ小修理ヲ施セハ使用差支ナ	キ見込	鐵管ハ全管共衰朽甚タシク計畫壓力ヲ保ツ能ハス使用	壓力二二〇新ニ降下シ使用スル状態ナリ殊ニ四號鐵ハ	腐蝕ノ程度甚タシク下部水室附近ハ湯垢積等ニテ漸ク	其ノ現形ヲ保ツモノアリ鐵管換裝及圖ノ一部ニ大修理

今井納

0137

除籍艦逐艦有明現狀検査表（一四一—一四〇調）

機	機	現	狀	損	要
機	機	機	機	機	機
用シ得ル見込	機中震動並ニ騒音甚タシキモ時々小修理ヲ施セハ尚能	滑動部全般ニ亙リ摩耗シ殊ニ軸系中心ニ變倚ヲ來シ選	推力軸本及張出軸本裏金ノ鐵部ノ腐蝕甚タシ	一號、三號機ノ總管ハ衰朽甚タシク水室挿入部附近ハ	内外部ヨリ固形物附着ノ爲メ漏洩ヲ防キ現形ヲ保ツ狀
				態ナリ	
				二號、四號機ハヤ、良態ナリ然レトモ總圍及煙突ノ内	
				筒等ハ大修理ヲ行ハサレハ使用困難ナリ	
				全般ニ亙リ摩耗甚タシキモ小修理ヲ施セハ使用差支ナ	

今井

除籍艦逐艦吹雪現状検査表（一四一ニ一〇調）

備	要	摘	要	現	機	機	機	機
全般ニ亙リ摩耗甚クシキモ小修理ヲ施セハ使用差支ナ	爐路煙突等相當ノ修理ヲ行ハサレハ使用不可能ナリ	唯一號艦ノミヤ、良好ナリ依テ三號艦以外鑪管換裝圖	遙降下シ使用セシモ現時使用不可能トナレリ	其他ノ艦ハ管一般ニ衰朽甚クシク使用壓力ヲ一八〇新	本艦三號艦ハ近半鑪管換裝セシニ依リ良態ナリ	並力軸本及張出軸承裏金ノ鐵部腐蝕甚クシ	用シ得ル見込	轉中震動並ニ騒音甚クシキモ時々小修理ヲ施セハ尚使
								滑動部全般ニ亙リ摩耗シ殊ニ軸系中心ニ變倚ヲ來シ運

今、非、納

大正十五年一月二十二日起案

大正十五年四月

總務部 艦政本部長

第四部長

副官

第五部長

大臣

次官 官安保 參事官

第一部長

軍務局長

總務部長

第一課

第二課

經理局長

第二課長

第三課長

第四課長

軍務局長

第一課長

第二課長

第三課長

軍令	水路	臨建	教育	造兵	具	經理	醫務	機關	軍務	官房	局部
					14.2.2						受月日發月

官房第一〇八二號

一月九日附吳鎮第一之三號二上軍雜役船廢船處分付

大正十四年四月十一日

大臣

白

14.2.2

14.2.6

14.2.2

14.1.29

受

14.1.29

14.1.29

14.1.29

14.1.29

14.1.29

14.1.29

14.1.29

紙用備附

0145

大正

局部	受月日	發月	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務
事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務	事務

兵 官 建 路 令
 14.2.2
 14.2.2
 14.2.2
 14.2.2
 14.2.2
 14.2.2
 14.2.2
 14.2.2
 14.2.2
 14.2.2

紙用箋附

大正 年 月 日
 海軍艦政本部總務部第三課
 0146
 陸軍省
 陸軍省
 陸軍省
 陸軍省
 陸軍省
 陸軍省
 陸軍省
 陸軍省
 陸軍省
 陸軍省

局長	14.2.2	經理	機關	事務	軍務	官房	局部	受月日	發月
				訂印					
				土庫					

0145

附 箋 紙

大正十四年三月三日

海軍省軍務局

謹此承蒙中

白雲七月施行予定ノ聯合艦隊是彈射擊用標的船トシテ令隊ノ文付予定ヲ以テ六月末迄ニ修理施行予定ニ及ラズ修理完結迄是布見合至ホシ

朝潮ノ吉浦所長ヲ排下衣文公十稟申アリ。目下手段中

0147

													終
													終
													終

終
又

(
終
)

（
終
）

0148

三二二

大正十四年一月九日

長鎮守府司令官竹下勇

海軍大臣財部魁殿

第四部

雜役船廢船處分件

吳港 雜役船 保管中 左記 雜役船 検査

七三ノ候 處現 狀別紙 検査報告 通有之 廢船

處分致度候 條御認許相成度

右申

左記

船名 船種 還納元

龍

官房第一ノ七

記事

本艦 14.1.20 受檢

一月十一日 營房支

0149

紙 箋 附

事

後船検査
有之廢船



一月十一日
醫房受

0149

紙 箋 附

大正十四年一月十九日

艦政本部印

廢船処分の上を
お返し

海軍省軍務局

0150

少能行抄年々人

朝白曙

潮雲

(別紙四葉添)

魚雷標的舩

吳海軍港務部

海軍

(終)

0151

魚雷標的船、艦 検査報告 五母軍之廠長

大正十三年十月五日 調

現	状	摘	要	所	見
船殼	船殼	船殼 船裝 船裝 船裝	機 機 機	廢船處 廢船處 廢船處	他、新設船トシテ利用ノ方達ナシ
船体各部老朽ナリ就中外板腐蝕シ浸水甚シク修理 ヲ加ルニ價値ナシ		一般ニ老朽且破損甚シ 軸系推進器全然使用ノ見込ナシ(其他全部取外シ儉)		取外シ儉	

(尾)

海軍

見所	要 摘 状 現								
<p>廢船處分至常認 他船後形ニテ利用ノ方途ナレ</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="683 577 762 779">罐</td> <td data-bbox="762 577 842 779">概 概</td> <td data-bbox="842 577 922 779">船 船 裝 裝 品 品</td> <td data-bbox="922 577 1098 779">船 殼</td> </tr> <tr> <td data-bbox="683 779 762 1966"> <p>取外シ儉</p> </td> <td data-bbox="762 779 842 1966"> <p>軸等推進器全無使用、見込ナシ（其、他全取外シ儉）</p> </td> <td data-bbox="842 779 922 1966"> <p>各部老朽且破損甚シ</p> </td> <td data-bbox="922 779 1098 1966"> <p>使用ノ見込ナシ且修理ナシル價値ナシ 船体各部老朽ナリ就中外板及甲板ノ腐蝕甚シク將來</p> </td> </tr> </table>	罐	概 概	船 船 裝 裝 品 品	船 殼	<p>取外シ儉</p>	<p>軸等推進器全無使用、見込ナシ（其、他全取外シ儉）</p>	<p>各部老朽且破損甚シ</p>	<p>使用ノ見込ナシ且修理ナシル價値ナシ 船体各部老朽ナリ就中外板及甲板ノ腐蝕甚シク將來</p>
罐	概 概	船 船 裝 裝 品 品	船 殼						
<p>取外シ儉</p>	<p>軸等推進器全無使用、見込ナシ（其、他全取外シ儉）</p>	<p>各部老朽且破損甚シ</p>	<p>使用ノ見込ナシ且修理ナシル價値ナシ 船体各部老朽ナリ就中外板及甲板ノ腐蝕甚シク將來</p>						

魚雷標的船 曙 検査報告

海軍工廠長

大正十三年十一月二十日 調

魚雷標的船 白雲 検査報告

海軍工廠長

大正十三年十月二十日 調

見	所	要	摘	状 現
所要費用概算金八千円	工事内容、 主機及機装ヲ解キ裸体船トシテ一新ノ改造ヲ行ヒ上陸場 等ノ橋船トシテ利用スルヲ可ト認ム	罐 衰朽甚シク全然使用不可能ト修理ノ價値ナシ	軸系ノ修理ヲサレハ使用シ得ルニ修理ノ價値ナシ 各部一般ニ老朽ナリ但シ繋留装置ハ稍良態	船體一般老朽シテ甲板外板等ニ腐蝕箇所多シ但シ 特種ノ航後船トシテ使用スル時ニ其目的ノ期間ニ合フ程 度ニ修理可能ナリ

海軍

魚雷標的船、朝潮 検査報告

海軍工廠長

大正十三年十月二十日 調

現 状	摘 要	所 見
<p>船 殼</p> <p>船体一船老朽シテ甲板外板等之腐蝕箇所多シ但シ特種ノ新設船トシテ使用スル時ニ其ノ目的ニテ問ハレテ程度ニ修理可能ナリ</p>	<p>機 械</p> <p>各部一船老朽ナリ但シ整備留装置ニ積良態ニ軸系ニ修理ヲ加レテ使用シ得ルモ修理ノ價值ナシ</p>	<p>工率ノ甚、及隊弁</p> <p>他ノ新設船トシテ向後約二三年ヲ使役スルヲ研究ヲ要ス</p> <p>主機及機装ヲ解体シテ一部ノ改造ヲ行ヒ上陸場等ノ橋船トシテ利用スルヲ可ト認ム</p>
<p>所要費用 概算金八千円</p>		

海 軍 艦

全 村 網

0155

艦政本部

五二五二

大正十四年二月十三日

海軍大臣財部廳殿
吳鎮守府司令長官 竹下 勇

雜役船廢船處分一件

吳海軍港務部 雜役船中ノ左記雜役船ハ何レモ船体各部衰
弱ニ修理使用ノ價值無ク之ヲ付廢船處分致候
事三

右報 生總務部

公稱 第二〇七號	運貨船	吳海軍港務部	
同 第七四號	中島		
同 第二四八三號	傳馬船		
同 第二四八九號		海軍兵學校	

艦政本部 14.2.20 第三課

14.2

14 217

海 陸 軍

56

0156

艦政本部

軍務局

佐世保鎮守府司令官 博 恭 王

大正十四年二月十四日

佐世保鎮守府司令官 博 恭 王

海軍大臣 財部 彪 殿

右第... 件

本年... 三三六... 御認許... 依
り當港務部保管左記汽艇四隻本日廢船

右第... 候

朝霧、村雨、鷲、雲雀

(終)

14.2.20

14.2.18

0157

軍務局

横領第三八六號

大正十四年二月二十三日

横須賀鎮守府司令長官 加藤 寛 治

第四軍大臣 彪 殿

總務部

雜役船廢船二關スル件

左記雜役船ハ船体全般ニ亘リ老朽腐蝕甚敷一時的修理ヲ施スモ今後永ク使用不可能ト認メ廢船ト致候

右報告ス

左記

横須賀海軍港務部保管

公稱第一五一三號運貨船

新入

14.3.3

14.2.25

14.2.25

海軍

二月廿四日

官房受

0158

軍務局

海軍部

大正十四年三月二日

横須賀鎮守府司令長官 加藤寛治

海軍大臣 財部 彪殿

第四部

總務課

廣船運送船夕風還紙ギグハ船体部全体直
リ老朽弛緩シ修理再用ノ見込ナキニ付廣船ト

致候
右報告ス

牛島

(5)

4.3.6-

14.8.4

14. 3. 2

0159

70

軍務局

三月二十五日

司令官

参謀長

参謀官

一四

一七

七

大正十四年三月十八日

艦務部員

海軍

大臣財部 彪殿

横須賀海軍港務部長中山 鞠信

第一果 廢船引渡ノ件ト

左記 雜役船並保管船ハ本年三月五日官房

第七二。號訓令ニ依リ三月十八日横鎮第四七九號

ノニヲ以テ廢船トナリタルニ付神戸市長ニ引渡候

右報告ス

左記

公稱第三七四號一カツター

旧艦逐艦時雨還納ノギガ

14.3.2

499.8

0160

活 算

追テ現品八本年二月十九日軍務一第七七號ニ依リ
二月二十三日當港發持務艦高崎ニ托送二月二十八日神
戸入港同日授受ス候

致

0161

軍務局

三月廿四

司令官



参謀長



副官



参謀



鎮 14.3.20 受

220 廿五日

大正十四年三月十八日

艦務部員

海軍大臣 殿 横須賀海軍港務部長 中山 鞠信 殿



廢船引渡件

本年三月二日横鎮第二。號ノ三ヲ以テ廢船トナリ
名左記保管船ハ三月三日横須賀海軍工廠ニ引

渡候
右報告ス

左記

旧艦連艦夕風還納ノギ

(終)

海軍

0162

三月七日

軍務局

横濱

大正十四年三月十七日

横須賀海軍港務部長中山鞠信

海軍大臣財部彪殿

機関長

官

本年二月三日横須賀第三八六号ヲ次ニ發船トナリタ
左記雜役船ハ二月二十四日横須賀海軍工廠ニ引渡候
右報告ス

左記

公稱第一五一三號

運賃船

終

海軍

参謀長

参謀官

肥人英

14. 3. 20

横濱 14. 3. 20

0163

103

131

事務

日

司令長官

参謀長

副官

参謀

副官

横領 14.4.8. 受

一四一〇

大正十四年四月

横須賀海軍港務部長中山鞠信

海軍大臣 財部 彪 殿

日蓮

發船引渡ノ件

本詳三月十二日電房第八。七詳ニシテ發船
認許トシテ左記雜役船ハ三月十七日横須

賀海軍工廠ニ引渡候

右報告ス

記

標的船 (旧叢雲)

終

海軍

0164